

食品加工会社社員が
契約米を収穫体験

可児市

食品加工の「シノフーズ」(大阪市)の社員を招き、原料として仕入れている米を育てている田んぼで稲刈りをしてもらう交流会が26日、可児市大森で開かれた。

同社と全国農業協同組合連合会県本部(JA全農岐阜)は、JAめぐみのが生産する米「あきさかり」を3年間使う契約を結んでおり、今年が2年目。交流会は、生産者と購入事業者の結び付きを強めるのが狙いで、5月には田植え体験も行われた。

この日、同社の名古屋市と千葉県の工場から9人が訪れ、生産を担当する地元

の農事法人「土利夢(ドリム)ファーム可児」の指導を受けながら、鎌を手に稲を刈った。コンバインに



鎌を手に稲刈りを楽しむ参加者たち 可児市大森

よる稲刈りの実演も行われ、米の生産現場の様子を学びながら交流を深めた。

(原田大介)